

昭和46年 工業統計調査の概要について

事業所数 9,818 (対前年比 100.1)
 従業者数 231,869人 (" 100.6)
 製造品出荷額等 1兆5,107億円 (" 110.7)

ノ所(工場)数は9,818, 従業者数は231,869人で, 昭和46年1カ年間の製造品出荷額等は1兆5,107億円であった。

これらを前年と比較すると, 事業所数は0.1% (14事業所), 従業者数は0.6% (1,267人), 製造品出荷額等は10.7% (1,464億円) の伸びである。

昭和40年に4,064億円であった製造品出荷額等は46年には1兆5,107億円で40年の3.7倍となった。(第1表) ✓

1 概況

(1) 製造品出荷額等は1兆5,000億円を突破
 昭和46年12月31日現在における本県の製造業の事業ノ

第1表 年次別事業所数, 従業者数, 製造品出荷額等 (昭和40~46年)

年次	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		指数 40年=100.0
	(所)	対前年比	(人)	対前年比	(億円)	対前年比	
昭和40年	8,008	99.0	155,000	99.4	4,064	116.6	100.0
41	8,435	106.0	163,582	105.5	4,736	116.5	116.5
42	8,643	101.9	178,657	109.2	6,237	131.7	153.5
43	8,668	100.3	190,865	106.8	8,020	128.6	197.3
44	9,309	107.4	210,276	110.2	10,228	127.5	251.7
45	9,804	105.3	230,602	109.7	13,643	133.4	535.7
46	9,818	100.1	231,869	100.5	15,107	110.7	372.1

ノ(2) 製造品出荷額等の伸び鈍る

製造品出荷額等の伸び率(前年対比)は昭和42年以降30%前後の高い伸びを示してきたが, 昭和46年の伸び率は10.7%で近年にない低いものとなった。

(3) ゴム, 石油, 化学の出荷額は2倍余の伸び

製造品出荷額等の伸び率を産業別にみると, 非鉄, 木材・木製品, 繊維の3産業を除き各産業とも前年より増加しているが, なかでもゴム, 石油・石炭, 化学の伸びは高く2倍以上となっている。

(4) 鹿行地域の出荷額のシェア増大

鹿行地域の製造品出荷額等の伸びはきわめて高く, 前年の52.2%増で, 県全体に占める割合は14.8% (前年は10.8%) とその比重は増大した。(第2表)

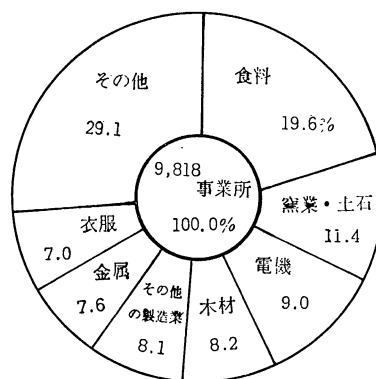
2 産業別構成

(1) 事業所数

産業別に事業所数をみると, 食料品が1,918事業所で全体の19.6%を占め最も多く, 次いで窯業・土石が1,114事業所で同じく11.4%, 電気機械器具が880事業所でノ

ノ同じく9.0%, 以下, 木材・木製品の同じく8.2%, その他の製造業8.1%の順で, この構成は昨年と変わりはなかった。(第1図)

第1図 産業別事業所の構成

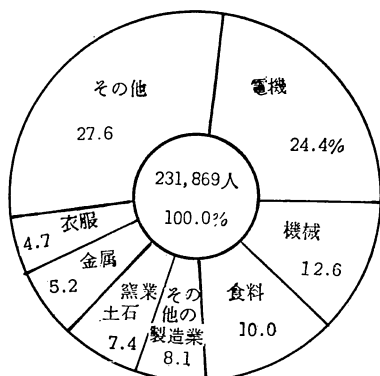


前年に比較すると, 木材・木製品, 衣服, その他の繊維製品, 繊維など11産業が減少しており, 金属製品, その他の製造業, 電気機械器具など9産業が増加した。

(2) 従業者数

産業別に従業者数を見ると、電気機械器具が58,350人で全体の24.4%を占め最も多く、次いで、一般機械器具が29,261人で同じく12.6%、食料品が23,213人で同じく10.0%、以下、その他の製造業が同じく8.1%、窯業・土石が同じく7.4%の増となっている。(第2図)

第2図 産業別従業者の構成

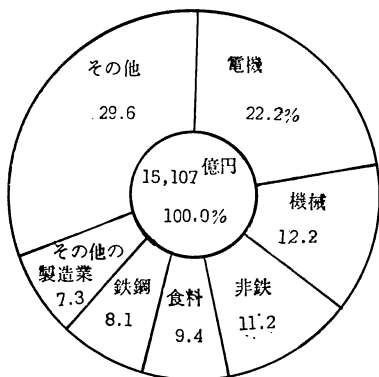


前年に比較すると、一般機械器具、電気機械器具、木材・木製品などの産業が減少していることが注目される。

(3) 製造品出荷額等

製造品出荷額等を産業別にみると、電気機械器具が3,450億円で全体の22.2%を占め最も高く、次いで一般機械器具が1,840億円で同じく12.2%、非鉄が1,689億円で同じく11.2%、以下、食料品が同じく9.4%、鉄鋼8.1%の順となっている。(第3図)

第3図 産業別製造品出荷額等の構成



前年に比較すると、非鉄、木材・木製品、繊維の3産業が減少しているほかはいずれの産業も増加している。なかでも化学、石油・石炭製品、食料品、電気機械器具は

200億円以上の増加となっている。

3 地域別構成

(1) 事業所数

事業所数を地域別にみると、県北地域が4,033事業所で最も多く、全体の41.1%を占め、次いで県西地域が3,230事業所で同じく32.9%、県南地域が1,991事業所で同じく20.3%、鹿行地域が564事業所で同じく5.7%となっている。(第2表)

第2表 地域別事業数、従業者数、製造品出荷額等

地域	事業所数 (所)	構成比	従業者数 (人)	構成比	製造品 出荷額等 (億円)	構成比
計	9,818	100.0	231,869	100.1	15,107	100.0
県北	4,033	41.1	118,500	51.1	7,222	47.8
鹿行	564	5.7	14,762	6.4	2,240	14.8
県南	1,999	20.3	45,357	19.5	2,760	18.3
県西	3,230	32.9	53,250	23.0	2,885	19.1

(2) 従業者数

従業者数を地域別にみると、県北地域が118,500人で最も多く全体の51.1%を占め、次いで県西地域が53,250人で同じく23.0%、県南地域が45,357人で同じく19.5%、鹿行地域が14,762人で同じく6.4%となっている。

(第2表)

前年に比較すると、県北、県南の両地域がそれぞれ1,882人、329人と減少しているが、鹿行、県西の両地域はそれぞれ2,206人、1,172人の増加でとくに鹿行地域での増加が著しい。

(3) 製造品出荷額等

製造品出荷額等を地域別にみると、県北地域が7,222億円で全体の47.8%を占め最も高く、次いで、県西地域が2,885億円で同じく19.1%、県南地域が2,760億円で同じく18.3%、鹿行地域が2,240億円で同じく14.8%となっている。

前年に比較すると、県北地域が前年と同額のほかはいずれの地域でも増加しているが、とくに鹿行地域は前年の52.5%増の高い伸びを示している。(第2表)

(県統計課商工統計係)